

(別紙5)

整理番号 2024P-120  
補助事業名 2024年度 児童養護施設の建築 補助事業  
補助事業者名 社会福祉法人 小野田陽光園

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

児童養護施設に入所している児童の多くが高校卒業後の進路で就職自立をしており、近年は大学・短大・専門学校への進学も増えてきていますが、入所するまでの生活や施設の集団生活などで自立生活の経験が乏しい現状があります。

社会へ巣立つ児童が在園期間中に自活訓練室を活用し実践的な生活体験を行ったり、その他在園児童の家庭復帰等に向けた体験や社会自立に向けた学びの場として活用をすることで、児童の自立支援につなげるものとして自活訓練棟を建築しました。その他、緊急時の一時保護委託や、市町村からの子育て短期利用事業としてのショートステイ等、DV家庭の緊急避難時対応場所として活用できるものとしています。

また、職員研修スペースや地域連携スペースを設け、児童の将来的な社会自立に向けた支援方針の検討会や職員の専門性を高める研修会を行うことにも活用したり、児童の遊びや園行事をとおして自立に向けての自主・協調・価値判断などの習得の場、社会体験の乏しい児童が地域養育者である里親との交流や里親支援スペースとして活用することで児童の自立支援に欠かせない地域社会との連携を図っていくものとし

### (2) 実施内容

#### 自活訓練棟の建築

1階には「自活訓練室（キッチン、浴室、トイレ等設置）」と「ホール・学びの場」を整備。自立生活への実践体験のほか、一時保護委託や子育て短期利用事業としての活用も可能。

2階は「職員研修スペース」「地域連携スペース」。児童の将来的な社会自立に向けた支援方針の検討会、専門性を高める職員研修としての活用や、地域養育者の里親との交流や里親支援スペースとして活用、等。

(別紙5)



建物外観



玄関



玄関(JKA標識表示)



自活訓練室



キッチン



浴室

(別紙5)



トイレ



ホール・学びの場



職員研修スペース



地域連携スペース

## 2 予想される事業実施効果

- ・ 個別の自立生活体験の不十分さという課題が解消でき、在園児童が進学・就職自立する前に、自活体験を通じて自立への知識や技術を身につけることで、施設を離れ一人暮らしをすることへの不安の軽減や円滑な社会自立につなげることが期待できる。
- ・ 児童の将来的な社会自立に向けた支援方針の検討会や研修会等を行い職員の専門性を高めることが期待できる。
- ・ 地域社会との連携により施設支援の幅が広がり、施設のイメージアップにつながることを期待できる。

(別紙5)

3 補助事業に係わる成果物

<http://www.onodayoukouen.com/custom2.html>

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：社会福祉法人小野田陽光園（シャカイフクシホウジンオノダヨウコウエン）

住所：〒756-0817

山口県山陽小野田市大字小野田 6111 番地 28

代表者：理事長 原田万史（リジチョウ ハラダカヅヨシ）

担当者名：園長 山本昭正（エンチョウ ヤマモトアキマサ）

電話番号：0836-83-4595

F A X：0836-83-8240

E-mail：[youkouen@coast.ocn.ne.jp](mailto:youkouen@coast.ocn.ne.jp)

U R L：<http://www.onodayoukouen.com>